

津山市都市計画マスタープラン（案）に対するパブリックコメント実施結果

1 意見提出者数及び意見数：6人 36件（うち参考意見 14件）

2 意見の内容と市の考え方

	【意見の要旨】	【市の考え方】
1	<p>インダストリー4.0 或いはソサエティ 5.0 を見据えた記載が見られないが、5G の環境整備などインダストリー4.0 或いはソサエティ 5.0 を見据えた計画が必要ではないか。</p> <p>修正前</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ◆計画的な土地利用のもと、工業機能の集積を図るとともに、産・学・金・官の連携を強化し、地域資源や特性を活かした産業の振興や新製品の開発などに取り組み、雇用の創出と持続可能で強固な産業基盤の構築を目指します。 </div>	<p>P44<第 3 章全体構想 2. まちづくりの主要目標 1) 県北の中心都市にふさわしい活力あるまちづくり 【産業の振興】></p> <p>5Gによる新たな技術革新などに注視する必要があると考え、下記のように修正します。</p> <p>修正後</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ◆計画的な土地利用のもと、工業機能の集積を図るとともに、産・学・金・官の連携強化、<u>先端技術の活用</u>、地域資源・特性を活かした産業の振興や新製品の開発などに取り組み、雇用の創出と持続可能で強固な産業基盤の構築を目指します。 </div>
2	<p>P88～91 第 4 章地域別構想 北部地域のまちづくり方針</p> <p>津山地域において一宮地域以北に関する記載が見られない。勝北・久米・加茂・阿波地区については、都市計画区域外地域に関しても構想があるようだが、津山地域 一宮地域以北についての構想はないのか。</p>	<p>P88<第 4 章地域別構想 2. 津山地域 5) 北部地域のまちづくり方針 (1) 土地利用の方針></p> <p>P89<第 4 章地域別構想 2. 津山地域 5) 北部地域のまちづくり方針 (3) 安全安心のまちづくり方針></p> <p>P90<第 4 章地域別構想 2. 津山地域 5) 北部地域のまちづくり方針 (5) 特色あるまちづくりの方針></p> <p>優良農地の保全や林業振興、集落の生活環境の維持向上、鳥獣害対策、レクリエーション・観光拠点等による交流促進などを方針として掲げています。</p>
3	<p>オンデマンドによる公共交通についての記載がない。この方式は考えられていないのか。</p>	<p>P45<第 3 章全体構想 2. まちづくりの主要目標 2) コンパクトで持続可能なまちづくり 【公共交通サービスの維持・充実】></p> <p>本計画の中で個別の手法については示していませんが、状況に応じた運行サービスの提供や利便性向上、公共交通空白地域の解消を図ることとしています。</p>
4	<p>大阪万博に協賛して「第 3 回津山産業博覧会」を開催する。</p>	<p>ご意見は参考とさせていただきます。</p>

5	<p>アルネ津山のあとは、津山市が「老人ホーム」を運営する。老人ホームは特別養護老人ホーム以外のものとする</p>	<p>「アルネ・津山」は、商業施設と図書館、文化施設等の公共機能を併設した中心市街地の核として現在運営しています。</p>
6	<p>作陽学園の後は「津山市立中学校」を設立する。高等学校の併立も研究に値する。</p>	<p>作陽高校については、引き続き、今後の動向を注視するとともに、県等の関係機関と十分連携を図りながら、対応していく方針です。</p>
7	<p>地域別構想（西南部と東部）</p> <p>今回のマスタープラン（案）では、西南部地域（平福地区）と東部地域（高野本郷地区）において、沿道サービス拠点が消滅しているが、長期従前からの方針変更であり、地域の街づくりに大きな悪影響を及ぼしかねず、ひいては津山市全体の発展を阻害することになりかねない。</p> <p>したがって、是非見直していただきたく強く要望する。</p>	<p>P83<第4章地域別構想 2.津山地域 3)東部地域のまちづくり方針 まちづくり方針図></p> <p>P87<第4章地域別構想 2.津山地域 4)西南部地域のまちづくり方針 まちづくり方針図></p> <p>現計画では、平成17年の市町村合併により市域が拡大する中で、土地利用の整合を図るべく新たな用途地域の指定を含めた土地利用の方針や、沿道サービス拠点、レクリエーション拠点などの主要な拠点をまちづくり方針図に示していました。</p> <p>今回の改定では、昨年8月に策定した立地適正化計画の方針を盛り込み、今後の人口減少や少子高齢化社会を見据えたコンパクトで持続可能なまちづくりを柱として作成しています。</p> <p>ご意見をいただいた平福地区や高野本郷地区のエリアは、用途地域指定外のいわゆる白地地域であることを踏まえ、今回、沿道サービス拠点としての位置づけを見直したものです。</p>
8	<p>P4, 44等 1. 中心都市まちづくりの見直し、提案</p> <p>1) 県北の中心都市にふさわしい活力あるまちづくりについて</p> <p>津山市は、盆地の恩恵により、岡山県第三の都市といわれ、鳥取県にも影響力がある場所である。それに見合う都市（区域を設定し、それに特化したコンパクトシティの作成及び広域連携）を創造し、機能しなくてはならない。しかし、本案の中心市街地（とくに商店街周辺）の「既存ストックを有効活用し、機能強化」、「歩いて暮らせるまちづくり」とあるが、すでに商業としては揃っていて、今現在（アルネを設置しているが、）まで続き、このような事態を引き起こしているのではないか。それらを残しコンパクトシティとして再利用することが本当に機能するのか。</p> <p>今日まで車社会が発達し、中心市街地の外側の市民は、自家用車を利用し、徒歩や自転車、公共交通機関の利用が減り、大規模な渋滞を引き起こしている現状が街中の衰退に繋がっていると思う。</p>	<p>P1 <第1章目的と改定の背景 2.改定の背景></p> <p>P40<第2章 3.まちづくりの主要課題 3)コンパクトで持続可能な都市の形成【コンパクトなまちの形成】></p> <p>今後も人口減少と少子高齢化は進行する見通しであり、郊外型店舗の増加などによる中心市街地の空洞化や利用者減少に伴う公共交通の情勢悪化、空き家等の増加による住環境の悪化など、さまざまな社会問題の発生が懸念されています。さらに財政運営においても、税収の減少や社会保障費の増加、公共施設の老朽化に伴う維持管理コストの増加などにより、今後も一層厳しくなると予測されています。</p> <p>こうした背景から、立地適正化計画を策定し、コンパクトで持続可能な都市の構築に向けて取り組みを進めています。</p> <p>今後、人口減少と財政的な制約が見込まれる中で、持続可能で効率的なまちづくりのためには、無秩序な市街地の拡散を抑制し、都市機能や居住の誘導を図るとともに、既存ストックの活用等による地域の拠点づくりを進め、これらの拠点を相互に連携・補完する多極ネットワーク型のまちづくりに取り組む必要があると考えています。</p>

9	<p>P45, P52 等 2) コンパクトで維持可能なまちづくり</p> <p>コンパクト（行政区域、観光区域などの特化区域）で移動も単純で、この区域で6～8割ぐらいで用事が完結する維持可能なまちづくりがよいのではないかと。9～10割では周辺の施設が衰退してしまう。</p> <p>ここ（津山駅から文化センターまでの中心部）に全て（コンパクトシティ）を造る必要があるのか。渋滞の悪化を招くのではないかと。</p> <p>（用途地域の北東側の外延部に）行政区域を移動し、その周辺に簡単な街と住宅地を整備し、市北部（阿波、加茂地区）の人々などを津山市中心地近くまでに移住（コンパクト化）を図るべきではないかと。</p>	<p>P44<第3章全体構想 2.まちづくりの主要目標 1) 県北の中心都市にふさわしい活力あるまちづくり【中心都市としての機能強化】></p> <p>P45<第3章全体構想 2.まちづくりの主要目標 2) コンパクトで持続可能なまちづくり【集約型都市構造の実現】></p> <p>立地適正化計画で設定した中心市街地を含む都市機能誘導区域には、広域的な利用圏を持つ高次都市機能の誘導を図るべきと考えています。また、勝北地域や久米地域、加茂地域、阿波地域の中心部においても、既存ストックの有効活用を図り、地域の特性にあわせた生活拠点を形成し、中心市街地と地域生活拠点等が交通ネットワークで結ばれ各地域間が有機的に連携した「多極ネットワーク型コンパクトシティ」を目指したいと考えています。</p>
10	<p>【集約型都市構造の実現、都市施設の整備と既存ストックの活用の見直し】</p> <p>集約型都市構造（商店街を中心にしたコンパクトシティー化）とあるが、もともと集約型都市構造であったにもかかわらず、現状が使いにくい街と市民が判断し、利用が減り、商業が減り、さらに衰退したのではないかと考えている。すべてを中心地に集めるのではなく、各公共施設を広げ、現都市計画区域内（用途地域内）+α（区域ごと循環型コンパクトシティー化）まで広げ、その中で住宅等々の建築を必ず留めるように整備する方がよいと思う。</p>	<p>同上</p>
	<p>市として、城東地区と鶴山公園の周辺、商店街と大型商業施設の周辺は、それぞれどのような特化区域する予定なのでしょうか。観光区域と商業区域として活用するのではないかと。であれば、それらに区域に分け、不要なものできるだけ減らし、整備すべきではないかと。</p> <p>この地図上（吉井川以北から市役所周辺）で、商業・観光施設と行政機関が混在する必要性とは？そもそもここに行政機関が必要なのですか？</p>	<p>P44<第3章全体構想 2.まちづくりの主要目標 1) 県北の中心都市にふさわしい活力あるまちづくり【中心都市としての機能強化】></p> <p>医療・福祉、商業、教育・文化、行政などの高次都市機能が集積している中心市街地は、これらの都市機能の維持・強化を図り、多様なニーズに応えられる県北の中心都市にふさわしい活力のある市街地の形成を目指すこととしています。</p> <p>P78<第4章地域別構想 2.津山地域 2) 中心市街地のまちづくり方針 (4) 環境保全・景観形成の方針 ②景観形成の方針></p> <p>城東地区は、重要伝統的建造物群保存地区として歴史的町並みの保存・活用、建物の修理・修景、景観整備等を推進することとしています。</p> <p>P76<第4章地域別構想 2.津山地域 2) 中心市街地のまちづくり方針 (2) 都市施設の方針 ②公園・緑地等></p> <p>P78<第4章地域別構想 2.津山地域 2) 中心市街地のまちづくり方針 (4)</p>

		<p>環境保全・景観形成の方針 ②景観形成の方針＞</p> <p>P78＜第 4 章地域別構想 2. 津山地域 2) 中心市街地のまちづくり方針 (5) 特色あるまちづくりの方針＞</p> <p>鶴山公園の周辺を含む中心市街地は、城下町にふさわしい歴史と文化にあふれた魅力ある都市景観の保全と創出を図ることとしています。</p> <p>また、城下町津山の「顔」として津山城跡（鶴山公園）の整備を推進するなど観光拠点としてさらなる魅力向上に努めることとしています。</p>
11	<p>○行政区域と観光区域（鶴山公園南側）の整備について</p> <p>官公庁関係等の施設の移動が一番だと思っている。現行政機関の施設の老朽化や更新費用、土地探し、などの問題があると思うが、北部（用途地域の北東側の外延部）などに行政区域を設け、3～5 建てまでの密集した合同庁舎、行政機関などを建てれば、費用は行政機関同士で費用を折半でき、土地は一区域で済む。</p> <p>住民サービスでいうと、ほぼそこに行政機関が集まっているため、移動にかける時間は、行政区域にくる時間で済む。</p> <p>また、行政機関が北部に行くことで、それらを利用する人が北部へ移動するため、南部の渋滞緩和等に繋がる。</p> <p>さらに、もともとあった場所は、かなり多くの土地を確保でき、観光区域、商業区域に特化して整備をすることできる、行政機関や銀行、商工会議所など様々な施設を（用途地域の北東側の外延部の）行政区域や別の近いところへ移動して開発すると、観光区域としては、観光関係の駐車場（商業施設と共同）や施設の整備ができ、公共交通と観光バスの利便性が大幅に向上し、駐車場問題も解決する。また、ごんご祭りにも影響する。</p>	<p>P44＜第 3 章全体構想 2. まちづくりの主要目標 1) 県北の中心都市にふさわしい活力あるまちづくり 【中心都市としての機能強化】＞</p> <p>医療・福祉、商業、教育・文化、行政などの高次都市機能が集積している中心市街地は、これらの都市機能の維持・強化を図り、多様なニーズに応えられる県北の中心都市にふさわしい活力のある市街地の形成を目指すこととしています。</p>
12	<p>○商業区域の整備について</p> <p>アルネ問題（商店街と連携が取れず、ともに衰退している。）は、かなりの痛手となっている。現在計画のあるショッピングモール化は、早期に実現すべき事案である。岡山市がキャパを超えているこの数年がチャンスである。商店街とアルネは、全てショッピングモール(アルネ)・アウトレットパークに統合し、生まれ変わり、駐車場、若者の店（ユニクロ、GU など）、飲食店、映画館を導入し、岡山県を二極化(南北)し、県北に訪れる（市外の人が買い物に来るだけではなく、定住、IU ターンしても生活が成り立つように計画すること。）ように整備すべきである。</p>	<p>P76＜第 4 章地域別構想 2. 津山地域 2) 中心市街地のまちづくり方針 (1) 土地利用の方針＞</p> <p>中心市街地の活性化を図るため、「アルネ・津山」と商店街の連携強化による回遊性の向上や、空き店舗への商業・サービス施設の誘導を促進することとしています。</p> <p>ご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>

	<p>また、「シロヤマテラス」についてですが、宿泊機能の側面だけでなく、ビジネスイベントやシンポジウムの開催など、コンベンション機能を有する新たな地域交流の場になることを期待しているのであれば、駐車場や乗降場所を再度検討すべきである。</p>	<p>ご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>13</p>	<p>○学校・社会教育、子育て支援区域の整備について</p> <p>下図（市役所周辺）の学校が密集している区域の整備について、他の小中学校の老朽化による建て替えは、費用面でつらいところなので、等間隔に小中学校を再整備し、廃校してはどうか。学校関係の管理など色々減るのではないかと。</p> <p>また、スポーツ関係も充実したいところなので、中央公園は再開発すべきではないか。（各学校の施設維持費、各スポーツクラブの施設維持費の軽減に繋がり、余った土地を再利用できるかと。）</p> <p>例えば、津山市役所、津山市役所東庁舎、津山すこやか・こどもセンター、NTT 西日本を行政区域や別の場所に移動する。そうすれば、かなりの土地が確保できる。中央公園で大会を確実に開催できるようにするための駐車場、温水の競技用コースのみの市民プール・テニスコートを設置し、老朽化した建物も一石二鳥で立て直すことができる。</p> <p>津山中央公園グラウンドは、北部にある津山スポーツセンターの第2機関として、津山スポーツ第2総合センターとして生まれ変わり、老若男女、行政、個人経営問わず、クラブやジム、健康増進につながる場所として利用してもらってはどうか。</p> <p>北部の津山スポーツセンター(津山スポーツ第1総合センター)にも市民プールを造り、スポーツセンターとグリーンヒルズを廃れさせないためにも行政区域を北部へもっていき、住宅区域を広げなければならないが。</p>	<p>学校は、児童・生徒の教育のための施設であるだけでなく、各地域のコミュニティの核としての性格を有することが多く、防災、地域との交流の場等、様々な機能を併せ持っています。また、学校教育は地域の未来の担い手である子どもたちを育む場であり、まちづくりのあり方と大きな関わりをもっています。</p> <p>学校の統廃合の適否の判断にあたっては、このような機能を持つことに留意し、児童生徒にとってよりよい教育環境はどうあるべきかという観点から、保護者や地域住民の理解と協力を得ながら「地域とともにある学校」の視点を踏まえて丁寧な検討を行ってまいりたいと考えています。</p> <p>P88<第4章地域別構想 2.津山地域 5)北部地域 (2)都市施設の方針 ②公園・緑地等></p> <p>津山スポーツセンターは、機能の充実と適切な維持管理、公園施設の質の向上に努めることとしています。</p> <p>中央公園についても同様です。</p> <p>なお、ご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>14</p>	<p>○駅周辺の整備について</p> <p>津山駅周辺について、駅の再開発したことにより、駐車場の数が開発により減っている。JRと協議し今後の利用率を上げるためにも南口を設け、一般車の乗降場のロータリー、駐車場を開発すべきではないか。</p> <p>岡山市や県外に行く際も、車を津山駅に泊め、JR、高速バスを利用す</p>	<p>P76<第4章 2.津山地域 2)中心市街地のまちづくり方針 (2)都市施設の方針 ①交通施設【公共交通】></p> <p>津山駅については、津山駅北口広場の整備により、ハイウェイバス・路線バスの乗降場の集約、一般車両等との分離など、広域的な交通結節点機能の強化を図っていますが、津山駅のバリアフリー化など、さらなる利用</p>

	<p>るようになると思う。</p> <p>また、駐車場を南に隠すことにより、景観が保たれ、提案している道を整備すれば、横山と一方から車が来ることになり、渋滞も減るのではないか。</p>	<p>者の快適性・利便性の向上による交通機能の強化・改善に取り組むこととしています。</p>
15	<p>P78○観光区域(城東むかしまち側)の整備について</p> <p>城東地区は、家は次々改修されているが、建物の雰囲気、街灯、道の構造、材質、色はできるだけ統一してほしい。観光にしっかり取り組まれていることがはっきり見えてきますので今後もよろしく願います。</p>	<p>P78<第4章地域別構想 2.津山地域 2)中心市街地のまちづくり方針 (5)特色あるまちづくりの方針></p> <p>歴史的町並みの保存・活用、建物の修理・修景、景観整備等を推進するとともに、市民や来訪者の利便性の向上を図るため駐車場や休憩所などの整備に努める方針としています。</p>
	<p>ただ、白線についてですが、材質が違うところに引いてしまっているため、数か月で割れ、消えたり汚くなっていた。折角綺麗に整備したのにとっても残念だった。比較的グレー側は消えてないので下図道路路面のようにピンクの方(カラー舗装のグレー部分)に引くようにすればいいかと思う。</p>	<p>連続した軒が城東地区の町並みの特徴の一つですが、バス等が軒に接触しないように、現在の位置に白線を引いています。</p>
	<p>電柱の地中化については、赤線部分(伝建地区内の出雲街道)は、全て予定されているのか。</p>	<p>P78<第4章地域別構想 2.津山地域 2)中心市街地のまちづくり方針 (4)環境保全・景観形成の方針 ②景観形成の方針></p> <p>実施する時期は決まっていますが、沿道の歴史資産等と調和する景観整備の一つとして無電柱化にも努めたいと考えています。</p>
	<p>城東地区の駐車場問題ですが、鶴山ホテル(施設更新があれば)との共同駐車場整備やレンタルサイクルの設置(城東地区は狭いので、徒歩か自転車を使えるようにしてもらうため。)はできないか。</p>	<p>P78<第4章地域別構想 2.津山地域 2)中心市街地のまちづくり方針 (5)特色あるまちづくりの方針></p> <p>歴史的町並みの保存・活用、建物の修理・修景、景観整備等を推進するとともに、市民や来訪者の利便性の向上を図るため駐車場や休憩所などの整備に努める方針としています。</p>
16	<p>○大崎～県道(350号)～横山までの道路整備の再検討・・・国道(53号)の渋滞解消、中心地南部の活性化。</p> <p>勝央町への流出(出勤、通学)はここ数年かなり多くなってきている。渋滞緩和、広域連携を高めるべきだと思う。しかし、既に計画として上がっている道路だが、黒円部分(都市計画道路網図の外環状線、日上と国分寺の破線部分)が整備されず、県道350号から右折し北へ上り、左折する計画となっているように見える。このままでは、南に下る車が減るとは思えない(日上大橋は廃止すれば物理的に通れなくなるが)ので、次のように直接道を接続する方がいいのではないかと思う。</p> <p>例えば赤線のように、上記のような位置に(国分寺地内県道350号と477号の合流点から横山地内の県道26号に、新日上橋から北の道を県道</p>	<p>P60<第3章全体構想 5.分野別方針 2)道路の整備方針 都市計画道路網図></p> <p>ご意見の箇所は、外環状線として位置づけている区間の一部ですが、現時点では既存の道路を有効に活用し、効率的な道路ネットワークの整備を行うこととして、都市計画道路網図に示しています。</p> <p>ご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>

	<p>350号の落合橋に、日上大橋北側から新日上橋北側に) つなげることはどうか。一番よいのは、青線のように大崎から横山に直接行ける道(大崎地内国道179号と横山地内の県道26号を結ぶ)を設けるのがよいが、費用面からいって難しいのでは。黒線(新日上橋を北上し現在県道350号と接続している区間、日上大橋)は、車が通らないように通行止めにする。最低でもピンク線のように(国分寺地内県道350号と477号の合流点と新日上橋と県道350号の合流点を結ぶ)十字路になるようにしてもらいたい。丁字路は交差点が増え渋滞するので。</p>	
17	<p>○川崎総社線(総社川崎線)～天神橋～横山までの道路整備・・・上記と駅までの時短、駅の利用の向上。</p> <p>青線(国道53号津山駅前交差点から八出の天神橋南に接続する道と今津屋橋南から直進する道)、赤線(天神橋南のJR北側から大谷横山線と駅前横山線の交差点に接続する道)、オレンジ線(天神橋南のJR北側から横山の県道26号に接続する道)のような道が考えられるが、道路整備の予定はあるのか。</p> <p>折角造った新しい天神橋が勿体無いので、総社川崎線から安岡町押入線から皿一宮線にかけての中環状線を変更し、総社川崎線から天神橋を渡り横山の駅前横山線から平福横山線を経由し大谷踏切を渡り大谷一宮線へ接続するように変更し、不必要に中心地を通らないように避ける道を整備すべきかと思う。</p> <p>八出地内東側の踏切2つを1つに纏める。できれば踏切なしの交差がよい。</p>	<p>P60<第3章全体構想 5.分野別方針 2)道路の整備方針 都市計画道路網図></p> <p>中環状線のルート変更までは予定していませんが、ご提案いただいた3ルートも含め検討する中で、天神橋南詰めから作陽高校西側の県道26号に接続する区間について、現道拡幅による道路整備を実施しています。</p>
18	<p>○国道(53号)～作州街道までの道路整備・・・国道(53号)と総社川崎線、城東(北)通りの渋滞解消、行政区域までの時短。北部住宅の活性化</p> <p>赤線(国道53号川崎西交差点から作州街道までの道路)を津山地域北部への時短、国道53号・城南通りの渋滞緩和、用途地域の北東側の外縁部の行政区域・中道中周辺の住宅区域の整備のため、整備する。</p> <p>黒線は(国道53号東松原町交差点から旧出雲街道までの道路)、車が通らないように通行止めにしてもらいたい。</p> <p>中道中側の県道(394号)と志戸部を通る城南通りの道路を再構築する方法もある。</p>	<p>P60<第3章全体構想 5.分野別方針 2)道路の整備方針 都市計画道路網図></p> <p>行政区域の移転を前提とした道路整備も考え方の一つと思われますが、現時点では既存の道路を有効に活用し、効率的な道路ネットワークの整備に努めることとしています。</p>
19	<p>津山中央病院から高野方面接続の際について</p> <p>津山中央病院から高野方面の接続のついでいいので、下図を改修しても</p>	<p>ご意見の箇所については、歩行者の安全性を考慮して歩車道境界ブロックの開口幅を決定し、病院との協議を行ったうえで位置を決定し、現在の</p>

	<p>raitai. 救急出入口の幅と歩道のブロックの幅がおかしい。入口は滑らかなカーブなのに対して、歩道のブロックにより急なカーブになっている。特に東側。</p>	<p>形状としています。</p>
<p>20</p>	<p>津山市の将来都市構造を見て、「これだ!」と思った。ケンブリッジのバスシステムと同じ構造をしているからであり、車のない私が、ケンブリッジで新鮮な魚を買いに行けるのは、このシステムのおかげだからである。システムの拠点は、10分間隔の快速バスで結ばれている。近くの拠点まで、自宅から自家用車で生き、車を置いて(パーク)バスに乗り(ライド)仕事に出かけるので、文字通り、「パーク&ライド」と呼ばれています。勿論、拠点には、大型のスーパーがあり、ローカルバスも出ている。</p> <p>英国のバスシステムに習い、ごんごバスの再編を図ったら?と思ったことだ。例えば、ロンドンでは、2020年までに中心部で排気ガスゼロのバスシステムを達成し、2041年までに市民の70パーセントがサイクリングルートから400m以内のところに住める都市計画がすでに走り出している。つまり、自然環境に配慮した公共交通網の構築である。</p> <p>自然をいくら改善しようとしても後戻りできなくなるという論文を目にした。自然環境に配慮した交通網を県北の市町村が協力して構築すれば、努力も少し報われるのではないだろうか?特に岡山桃太郎空港から、ミニシャトルバスで津山まで帰ることができなくなった現実があり、また、あば温泉にJR因美線経由で訪れるお客は、スクールバスの市営阿波バスに乗せてもらわなければならない。</p> <p>県北各地を互いに結ぶ、乗客にフレンドリー、かつ、環境に優しく、JRとの共存共栄が図れる交通システムを考えていただけないものかと思う。</p> <p>また、津山駅のプラットフォームにエレベーターがないことを心配している。</p> <p>そこで提案したいのが、「ニューヨーク・コミュニティ・トラスト」に習って、「津山コミュニティ・トラスト」を設立し、協力関係を構築する資金を募ってみてはどうかである。</p>	<p>P45<第3章全体構想 2.まちづくりの主要目標 2)コンパクトで持続可能なまちづくり【公共交通サービスの維持・充実】></p> <p>中心拠点と地域の拠点を結ぶ交通ネットワークの充実により、地域間の連携や交流促進を図り、安心して暮らし続けられる地域生活圏の形成に取り組む方針としています。</p> <p>その他の地域では状況に応じた運行サービスの提供や利便性向上、公共交通空白地域の解消などを図る方針としています。</p> <p>P45<第3章全体構想 2.まちづくりの主要目標 2)コンパクトで持続可能なまちづくり【集約型都市構造の実現】></p> <p>利便性の高い中心市街地や公共交通軸周辺などに居住の誘導を図る方針としています。</p> <p>P61<第3章全体構想 5.分野別方針 3)公共交通の方針 (1)公共交通の方針 ③「交流」と「にぎわい」を創り出す公共交通></p> <p>県北の中心都市としてふさわしい広域交通拠点や周辺市町とを連絡する広域公共交通網を維持・確保する方針としています。</p> <p>P44<第3章全体構想 2.まちづくりの主要目標 1)県北の中心都市にふさわしい活力あるまちづくり【交通機能の強化】></p> <p>津山駅では、利便性と快適性の向上に向け駅舎のバリアフリー化等を推進するとともに、さらなる改善の検討を進め、交通結節点機能の強化を図る方針としています。</p> <p>なお、ご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>21</p>	<p>このところ、東京オリンピック・パラリンピックの影響もあり、障害者に対する環境が整いつつある。私が物心ついた頃、津山は多様な人々を受け入れるインクルーシブなコミュニティーであった。障害があるからと隠すのではなく、社会とのつながりを持たせたいとのご家族の意向が、現代のオリパラ精神に照らし合わせても素晴らしいとしか言いようがない!顔と顔、目と目が合うコミュニティーのあり方が、よき時代を象徴してい</p>	<p>本市の最上位計画である津山市第5次総合計画において、身近な住民同士の思いやり・助け合いや福祉に対する関心を高め、地域福祉活動への積極的な参画を促し、高齢者・障害者など市民のだれもが、住み慣れた地域で支え合い、心豊かに安心して暮らせるまちづくりを実現する方針としています。</p>

<p>たと言える。</p> <p>公的には、津山みのり学園という世界の誇れる伝統もある。近代ホスピタル発祥の地である英国に住んだことで、みのり学園の創立者の偉業をたたえ、多大な努力を惜しなかつた初代理事長の功績を次代に継ぐのが、私たちの責任だと思うようになった。そこで、設立したトラストで、「津山コミュニティー・プライズ」を設けてはどうだろうか？みのり学園の創立者と初代理事長のご意見をグローバルに発展させられないだろうか。</p> <p>あば温泉に行った時に思いがけないうれしい体験をした。脱衣所に入った途端、声がかかり自然に会話が始まった。しかも、お互いの連絡先を交換し合う裸付き合いの友達ができた。自然の中のインクルーシブなコミュニティであった。</p> <p>一方で、ケンブリッジに滞在した折、ヒースロー空港からケンブリッジへの道路脇では、牛が草を食べ、川では白鳥などが遊んでいる。その近くの道路上では、かまぼこ状の出っ張りが横たわっているため、運転している人は否が応でも速度を落とさざるを得ない。また、リヤカーのような箱が付いた自転車は、重心が低いので、子どもを乗せて走っても安全である。人と自然が融和したコミュニティーである。</p> <p>このようなコミュニティーのあり方を津山からグローバル発信できないか。</p>	
<p>22 津山市立美術館構想の報告書がそのままになっているので、トラストでよみがえらせてはいかがだろうかとも思う。入場料だけで美術館の運用はできない。でも、古里の宝を後世に残すのは、現代の私たちの責任である。</p> <p>アートに私が注目するのは、愛着形成を重視するからだ。豊かな人生を歩むための言葉の発達、母子の共同注意を前提とする。つまり、落ち着いた環境で、母と子が一緒に同一のものを見ることを促す舞台としての美術館である。</p> <p>老若男女に関わらず、無限の可能を芽生えさせてくれるのが芸術であり、美術館がその舞台である。「神南備山の美術館」。遠くに那岐山を望み、吉井川の流れの向こうに、桜色をした石垣の美しい津山城を愛（め）でながら、古里の芸術を堪能できたらと思う。美術館に必要な不可欠な設備が整っていれば、簡素でよい。市政100年を目指して、考えてみてはいかがだろうか。</p>	<p>P68<第3章全体構想 5.分野別方針 10) 歴史・文化を活かしたまちづくり方針></p> <p>歴史・文化を活かしたまちづくりとして、洋学資料館や郷土博物館などの集積を活かし、芸術・文化活動の支援や鑑賞機会の提供に努めるとともに、芸術・文化施設の充実を図る方針としています。</p>